

# 外国人向け観光ガイドの育成へ

文科省委託事業

## 新宮市で初会議開く

### 来年4月にスタート予定

明治大学（リバティアカデミー）は26日、「新宮市等の熊野地域、新宮商工会議所で、外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト



プロジェクト実施へ向けて開かれた委員会  
=26日、新宮商工会議所

（案）の実施内容について、の第1回会議を開催した。

会議に先立ち、崎草浩委員長（明治大学経済学部教授）は「文科省委託事業に応募したところ採択され、

内容を盛り込んだ。このプロジェクトに協力していただける人に集まってもうりました。

来年1年間よろしくお願いします」と述べた。

世界遺産に登録後外国人観光客が倍増したため、外国人向け「おもてなし」のできる英語力のある人材が必要

とし、その育成のため受講生の募集開始。

具体的内容を協議。新宮市等の熊野地域は新宮市、田辺市本宮町、那智勝浦町、熊野市、尾鷲市、紀伊長嶋で構成される。

募集方法や英語を楽しく覚える方法など現在考えているカリキュラムの報告などがこの日の内容となった。今後の予定によると、2008年3月まで新宮市を中心に三重県熊野市など周辺地域との連携強化及びカリキュラムの策定など実施準備のため、外国人向け「おもてなし」の作成。5月下旬開設シンポジウム（講座）とし、その育成のため受講生の募集開始。

## 待望の専属住職就任

新宮市熊野川町の清蔵寺 12月9日に白井住職の晋山式

新宮市熊野川町西の臨濟宗妙心寺派靈宝山清蔵寺にこのほど白井清牧（しらい・せいぼ）住職（36）が就任

清蔵寺住職に就任した。「檀家さんたちは良い人ばかり。私が来た（り）にも順調に進みすぎると喜んでもらえてうて自分自身もびっくりしている」と白井住職。



6月〜2009年1月の一環。社会人の再チャレンジを支援するため、社会ニーズを反映した学び直しのための調査（受講生満足度アンケート、アンケート結果の分析および分析に基づく報告書の作成など）となっている。

テレビ会議を含めて進捗を図り、来年4月にスタート予定。

このプロジェクトは文科省委託事業「社会人の学び直し」に対する教育推進事業の一環として、は次の皆さん。

【委員長】  
▽崎草浩（明治大学経営学部教授）

【委員】  
▽林 雅彦（明治大学法学部教授）  
▽福辻京子（新宮市観光ガイドの会長）  
▽ティム・デッドマー（アメリカ出身22年間新宮市在住）

▽浦町観光ガイドの会理事  
▽三石 学（東紀州観光まちづくり公社観光振興室長）  
▽鈴木俊朗（新宮市商工観光課長）  
▽栗林圭一（同課）

【事務局】  
▽松尾智己（明治大学学術・社会連携部社会

コピー用原本